

日本大学理工学部理工学研究所研究ジャーナル執筆要項

平成21年4月1日制定

平成22年4月1日改正

平成22年4月1日施行

1 受付原稿

受付原稿は、執筆要項に従って執筆したもので、原則として **Microsoft Word** で作成した電子原稿(以下原稿とする)とする。

2 原稿の標準的作成方法は、次のとおりとする。

- ① 用紙サイズは、A4 判縦長とし、題名、著者名、概要及びキーワードは、横書き1段とし、**Microsoft Word** の 43 文字×38 行を基準とする。本文、参考文献及び付録は、横書き2段組とし、**Microsoft Word** の 20 文字×38 行2段組を基準とする。余白は、上 25mm、下 25mm、左 25 mm、右 25 mmとする。
- ② フォントは、邦文においては明朝、欧文は **Times New Roman** を基本とする。
- ③ 文字ポイントは、表題を 12pt.とし、それ以外は 10.5pt.とする。邦文はひらがな、カタカナ、漢字を全角とし、欧文英数字は半角を使用する。
- ④ 邦文論文の順序
 - (1) 邦文題名
 - (2) 邦文著者名
 - (3) 欧文題名
 - (4) 欧文著者名
 - (5) 欧文概要
 - (6) 欧文キーワード
 - (7) 本文
 - (8) 参考文献
 - (9) 付録
- ⑤ 欧文論文の順序
 - (1) 欧文題名
 - (2) 欧文著者名
 - (3) 欧文概要
 - (4) 欧文キーワード
 - (5) 本文
 - (6) 参考文献
 - (7) 付録

3 第1ページの体裁

- ① 邦文題名は、中央揃えで記載する。

- ② 邦文著者名は，題名から 1 行開けて中央揃えで記載する．名前の後には，著者の所属を参照するために，上付きで記号を付記し，脚注(後述)で所属を記載する．
- ③ 欧文題名は，邦文著者名から 1 行あけて中央揃えで記載する．
- ④ 欧文著者名は，欧文題名から 1 行あけて中央揃えで記載する．なお，著者が複数の場合，最後の著者名とその直前名の間は **and** で区切り，それ以外はコンマで区切る．
- ⑤ 概要は，欧文著者名から 1 行あけて，強調文字の英文で中央に **Abstract** と書き，200words 程度からなる概要本文を記載する．
- ⑥ キーワードは，概要から 1 行あけて，英文で **Key Words:**の文字列に続き，5words 以内で記載する．
- ⑦ 本文は，キーワードから 1 行あけて記載する．
- ⑧ 著者の所属は，脚注に次のとおり記載する．

邦文の場合

* 日本大学理工学部物質応用化学科；日本大学理工学部理工学研究所材料創造研究センター

欧文の場合，英文なら

* Department of Materials and Applied Chemistry, College of Science and Technology, Nihon University ; The Center for Creative Materials Research, Research Institute of Science and Technology, College of Science and Technology, Nihon University

4 本文の体裁

- ① 章・節・項は，次のとおりとする．本文は，それぞれから 1 行改行して記載する．

	表記	表示位置
章	1. 2. 3.	行の中央
節	1.1 1.2 1.3	行の左端から 1 文字目
項	1.1.1 1.1.2 1.1.3	

- ② 句読点

邦文は，全角カンマ(，)と全角ピリオド(．)を使用する．

欧文は，半角カンマ(,)と半角ピリオド(.)を使用する．

- ③ 数字

(1) 原則として算用数字(アラビア文字)(半角)を使用する．

(2) 熟語，成句，固有名詞は漢数字を使用する．

(3) 第一に，第二に，一つ目，二つ目などは，論文中で漢数字又は算用数字(半角)で統一する．

- ④ 図と表

(1) 図及び表は，縮尺を考慮した完全な図面として文中に挿入する．

(2) 図(グラフ，説明図，写真等)は，図 1，図 2 として，その次に図の表題を記載する．図の番号及び表題は，図の下に記載することを原則とする．

(3) 表は、表 1、表 2 としてその次に表の表題を記載する。表の番号及び表題は、表の上に記載することを原則とする。

(4) グラフの座標軸の説明は横書きで、縦軸は下から上へ、横軸は左から右へそれぞれ中央に記載する。

例：攪拌トルク□T□ [N・m]

Distance from wall□y□ [cm] ※□印はひとコマあける意味

(5) 図表等を他の文献から転載する場合は、著者の責任において転載許可を得て、その出展を明記すること。

⑤ 用語はそれぞれ学会で決められたもの、又は日本工業規格(JIS)の標準用語を用いる。また付録Ⅱ用字例も参考とすること。

⑥ 単位は、国際単位すなわち SI(Systeme International d'Unites)による。単位記号については、それぞれの学会で制定したもの、又は JISZ8202(1974)、前述の SI、若しくは DIN1304 Allgemeine Formelzeichen(1968)を参照する。

⑦ 参考文献の表記

(1) 文献の本文の引用箇所に、右肩^{1)・2)・5)・～8)}のように片カッコを付して番号を記載する。

(2) 表記は番号順に列記すること。

⑧ 記述上の注意

(1) 文章は文章的口語体とし、特に欧文又はカタカナ書きを必要とする部分以外は、漢字・かな(ひらがな)まじり書きとする。

(2) 漢字は常用漢字のみを使用するものとするが、常用漢字であっても表外音訓は使用しない。ただし、文脈上どうしても常用漢字以外の漢字を使用しなければならない場合は、ルビをふるものとする。

(3) かなは、新かなづかいによる。ただし、外来語はカタカナ書きとする。

5 参考文献の体裁

① 文献の番号は、1 論文ごとに通し番号とし、片カッコを付して番号を記載する。

② 同一の著者が同年に複数の著書又は論文を発表している場合、文献は、発行の古い順から表記する。

③ 邦文文献の表記

・(論文の場合): 著者名 (発行年): “論文名”, 書物名又は雑誌名, 巻数, 号数, ページ数.

(例)

1) 加島 裕明 (2002): “圧電積層平板の有限要素解析”, 日本機械学会論文集 A編, 第 68 巻, 第 666 号, pp.189-195.

・(単行本の場合): 著者名 (発行年): 書物名, 発行所.

(例)

2) 山内 鴻廣隆 (2003) : 環境の倫理学, 丸善株式会社.

④ 欧文文献の表記

- (1) 著者名は, 単著の場合は, 苗字, 名前のイニシャル.
- (2) 著者名が複数名の場合は, 1 番目の著者の苗字, 名前のイニシャル., 2 番目の著者のイニシャル. 苗字 and 最後の著者のイニシャル. 苗字(苗字の後には, ピリオドなし)

・ (論文の場合): 著者名 (発行年): “論文名”, 書物名又は雑誌名(イタリック), 巻数, 号数, ページ数.

(例)

1) Craig, J. (1999) : “Weight Estimates and Control”, in G. A. Khoury and J. D. Gillett (eds.), *Airship Technology*, Cambridge, Cambridge University Press, pp.235-271.

2) Potvin, J., G. peek and B. Brocato (2003) : “New Model of Decelerating Bluff-Body Drag”, *Journal of Aircraft*, Vol.40, No.2, pp370-377.

・ (単行本の場合): 著者名 (発行年): 書物名, 発行地, 発行所.

(例)

3) McRuer, D., I. Ashkenas and D. Graham (1973) : *Aircraft Dynamics and Automatic Control*, Princeton, Princeton University Press.

・ (WWW の場合): ブラウザー名 (発行年): 書物名, www アドレス.

(例)

4) Selig, M. S. (1998) : “UIUC Airfoil Coordinates Database”, UIUC Airfoil Data Site, URL : <http://www.ae.illinois.edu/m-selig>

⑤ 本研究ジャーナルの欧文表記の略称

J. Res. Inst. Sci. Tech., Nihon Univ.

以上